



つぎのいっぽん

地域力、福祉力、市民力 チカラをあつめる、つなぐ、高める、広げる～市民が主体の地域づくりを!

2022年度 NPOクラブの取り組み&大事にしたいこと

コロナ禍が長期化し、私たちの暮らしの場にも大きな影響をもたらしています。そんな中で地域で課題解決に活動するNPOに期待することが増えています。ただ、NPOにとっても持続可能な運営、担い手の育成などに課題があります。今年度、重点的に取り組む視点は「多くの市民が地域づくりに関心を持ち、参加が広がるような地域づくり」であり、「様々な主体とどう協力関係、協働を育てるのか」をテーマとします。

1. NPO運営相談、講座企画、講師の派遣



団体運営に関わる相談を常時受付、電話、メール、対面に対応。そこで課題となる事務力(会計処理、労務管理、所轄庁手続き等)を高めるためのセミナーや団体運営に関する講座を企画開催(千葉県受託)。また、各市が開催する市民活動への参加を促進する講座に講師を派遣。

2. 四街道市みんなで地域づくりセンター運営(四街道市受託)



地域課題の解決にむけ市民参加・協働をすすめる拠点として多様なプログラム、ネットワークづくりを実施。子ども支援ネットワーク、みんなで災害支援ネットワーク、コラボ推進プロジェクト、市民団体マネジメント講座、自治会情報交換会等の企画運営を通して地域づくりを支援。

3. ちばし地域づくり大学校 企画運営(千葉市受託)



千葉市人材育成事業、働く世代、学生、シニア等が地域づくりや福祉活動、自治会活動の理解を深め、参加のきっかけ、出会いの場を提供。

6. 災害支援ネットワークちば(CVOAD)運営事業



CVOAD
災害支援ネットワークちば

2019年千葉台風・豪雨災害をきっかけに、千葉県内の中間支援組織や社会福祉協議会、自治体など多様な主体とともに、平時からのつながりをつくり、災害時にスムーズな支援活動ができることを目指している。他地域の事例や専門家から学ぶ学習会や意見交換会などを通して、交流を図りながら活動を広めます。

5. 多世代交流拠点「おおなみこなみ」運営事業



地域の居場所として多様なプログラムを開催。健康体操、オレンジカフェ、シニア英会話、検見川歴史講座、あみものサークルなどでシニアの交流を促すとともに、子育てママの息抜き場の場となるなど、多様な世代の利活用を進めます(中面に詳細)。

4. 福島県避難者支援、相談事業(福島県受託)



福島県から千葉県に避難している方たち(1,423名)への情報提供、相談対応、訪問を行い、地域に出向きミニ交流会を開催。孤立を防ぎ、避難者同士が日常的に連絡、交流できるような「つながりづくり」を進めます。

NPOクラブ 賛同会員の会費額変更のお知らせ



常日頃のご支援・ご協力に感謝申し上げます。
6月4日に総会を無事に終え、賛同会員の会費額を下記のとおり変更することを決定いたしました。
会費額の引き下げに加えて、地域づくり支援のより一層の充実により、さらに多くの個人、団体の賛同を得られる団体運営を実現していきます。

賛同会員 年会費 個人 3,000 円、団体 5,000 円

(運営会員は、これまで同様に 個人 5,000 円、団体 10,000 円となります)

※認定NPO法人への賛同会費、寄付は税制優遇の対象となります

9月開講

ちばし地域づくり大学校 受講生募集

地域デビューの人も、すでに地域活動している人も、地域とつながるそれぞれのカタチをさがす学びの場。

【応募期間】 7/1 金～8/19 金 郵送の場合は必着

【受講料】 無料

【主催】 千葉市 【申込み・問合せ・企画運営】 NPOクラブ



詳しくはこちらより→



SAVE JAPAN プロジェクト 2021-2022 生きもの田んぼの稲刈り 参加者募集

【日時】 8/27 土 9:45～15:00

【場所】 千葉市緑区下大和田谷津田 当日は駐車場あり
(千葉駅からバスで45分「中野操車場」下車 徒歩5分)

【参加費】 小学生以上 一人 300 円

【申込・問い合わせ】 メールで下記まで

ちば環境情報センター 小西さん yatsudasukisuki@gmail.com

【主催】 NPO法人ちば環境情報センター

【協賛】 損害保険ジャパン株式会社 【協力】 NPOクラブ



千葉県市民活動団体マネジメント講座を開催します

※講座日程や開催内容などについては、都合により変更になる場合があります。詳細は後日ご案内します。

【受講料】 無料 【主催】 千葉県 【問合せ・企画運営】 NPOクラブ

No.	開催予定	開催方法	講座名	講師予定者	定員
1	9月中旬	対面、Zoom併用	「新しい時代のNPOマネジメントを学ぼう ー多様な人たちの協力を助け、目的を達成する」	松原明さん (「協力世界」代表)	50名
2	9月下旬	対面	NPOの組織開発	NPOクラブ	30名
3	10月下旬	対面、Zoom併用	ばっちり習得 NPOの日常会計処理	加藤達郎さん(税理士)	30名
4	11月初旬	対面	会計個別相談会(事前予約制)	加藤達郎さん(税理士)	6団体
5	11月下旬	Zoom	ばっちり習得 NPO法人の労務	石井敏則さん(社労士)	30名
6	12月初旬	対面	労務個別相談会(事前予約制)	石井敏則さん(社労士)	6団体

〈編集・発行〉 特定非営利活動法人(認定NPO法人) ちば市民活動・市民事業サポートクラブ(NPOクラブ)

〒261-0011 千葉県千葉市美浜区真砂5-21-12 TEL 043-303-1688 FAX 043-303-1689

Mail: npo-club@par.odn.ne.jp URL: https://npoclub.com

ブログ: http://blog.canpan.info/npo-club1

Facebook NPOクラブで検索 Twitter NPOクラブで検索



会員・寄付
募集中!

・運営会員 22名 賛同会員 78名 発行 800部 会員・県内市民活動支援センター・自治体等にお届けしています。

NPOクラブが、地域にどっぷり入って行っている居場所づくり事業と地域のつながりづくりを支援する事業を紹介します。

多世代交流拠点「おおなみなみ」オープンから8年目 —「おはよう」と「ありがとう」の言葉が心地よい場所に

おとなも子どもも

2014年9月に、独立行政法人福祉医療機構(WAM)の助成金をもとに、以前はスーパーだった場所にオープンしました。60年前の埋め立て前は、検見川が海辺の町で漁業が盛んだったことから、おとな(おおなみ)も子ども(こなみ)も来られる場所にしたいと、「おおなみなみ」と名付けました。

中間支援組織として地域づくりや活動団体の支援を継続する中、直接、地域に関わる活動・事業を行うことで、よりリアリティを持った支援ができれば、そして商店街に賑わいをと願ってのことでした。「古い町だから、他所からの人には優しくないよ」と聞かされましたが、オープン時には多くの人が来訪、にぎわいました。

ボランティアで運営

8年間、運営を継続して来られたのは、ひとえに、ボランティアで運営に関わる5人のスタッフのおかげです。WAMの助成は「雇用」が前提でした。しかし、助成期間は1年のみ、翌年度以降、給与を支払い続けるのは難しい状況でした。「ボランティアで担い続けてもらえないか」とお願いし、現在に至っています。

「無理のない形」というのがモットーで、オープン時間もスタッフの状況にあわせて設定。当初の「いつでも、誰でも来たい時にふらっと立ち寄れる」という目標から少しずれるかもしれませんが、スタッフも地域の人、無理のない形で運営に関わることで、来る人も迎える人も笑顔でいられるように思います。

地域の人が講師役に

おおなみなみの企画・プログラムは、当初は「事務局持ち込み企画」がほとんどで、外部から講師を招いて地域の人が参加する形での開催でした。

8年経った今、ほとんどの企画・プログラムの講師役は、地域の人やおおなみなみのスタッフです。「編み物サークル」は、参加者それぞれが、作りたいものを持ってきて、編み方のわかる人が教えるといった形で、誰かに負担が掛かるということがありません。「編み物サークル」の参加者だった方の「ここで、折り紙を教えても良いかしら?」との声から始まった「折り紙講座」も、毎回少しずつ参加者が増えています。



元気な声に導かれて、体も心もびのび「おおなみなみ貯筋体操」

続けることの大切さ

8年前から継続開催している「健康貯筋体操」。長く続いているのは、指導者の志村さんの技量と熱意によります。コロナ禍でも、緊急事態宣言時以外は、三密を避けながら継続開催してきました。毎回、10数名の方が参加、体操と合間の「おしゃべり」を楽しまれています。8年前はびよびよんと立って体操されていましたが、今はイスに座っての方がほとんどです。無理のない形で続けることの大切さを感じます。

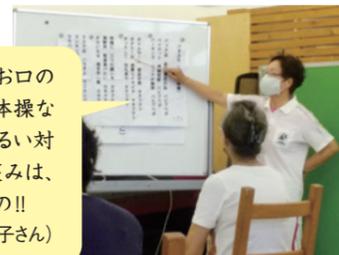
福祉事業所の物品販売やNPO法人日本ファイバーリサイクル連帯協議会(JFSA)のリサイクル衣料品の販売もオープン以来継続しています。「ここが美味しいのよ」「安く購入できて、環境にも優しくてパキスタンの支援にもつながるなんて」と『お気に入り』にしてくださる方も少なくありません。

運営費の確保が、オープン以来の課題ですが、上記の販売収入とあわせて、2015年度からは福島県からの避難者相談対応拠点も併設し、経費按分することで運営を継続することができています。

これからも、地域の人たちと一緒に、様々な団体の協力を得ながら「おはよう」と「ありがとう」の言葉を交わし合える場所として、運営していきたいと思っています。

<講師からのメッセージ>

8年目を迎えた貯筋体操は、お口の体操・筋トレ・脳トレ・ラジオ体操など内容は多彩。スタッフの明るい対応と体操参加者の満面の笑みは、正にシニアの憩いの場そのもの!!
(健康貯筋体操講師・志村幸子さん)



<スタッフからのメッセージ>

「おおなみなみ知ってるよ」「〇〇に参加して楽しかった」という声を多く聞くようになりました。居場所のひとつに定着してきたことを嬉しく思います。これからも気軽に立ち寄り利用していただける場所になるようにお手伝いできればと思います
(森澤安子)

おおなみなみでの活動が、参加者の皆さんにとって生活の一部であり、月数回の楽しい時間になっていると感じます。皆さんの笑顔に、こちらも笑顔になります
(嶋明子)

これからも地域の方、スタッフ、皆にとって穏やかでホッとできる場所であり続けたいと思います。少ししかお手伝いできませんが、そんな場所で関わっていただけたいと思います。
(清水祥子)

おおなみなみはこのコロナ禍では特に、私にとって「居場所」になっています。英語や音楽といった私自身、興味のある事を皆さんと一緒に楽しんでいます
(中澤紫)

8年以上の月日が過ぎ生活の一部に、お仲間が出来とても楽しく過ごして来ました。私事では大病をして元気になった時メンバーの皆さんに会えてどんなに幸福だったか。感謝しております
(鈴鹿富士子)



「風の村さくら」とコミュニティデザイン事業を行っています —地域づくりを住民が主体的に担っていくことを支援

佐倉市にある福祉の複合施設「風の村さくら」から依頼を受け、その日常生活圏域で「誰でも安心して暮らせる地域づくり」を実現できるよう、地域の人たちのつながり(コミュニティ)のデザイン、人がつながるしくみづくりを支援しています。

昨年9月より、地域の活動団体や社協なども交えたチーム会議を開催。対象地域を佐倉市宮前・内郷地区とし、地域住民のニーズなどを聞く対面ヒアリングから始めました。その中で、子どもを支援する多くのリーダーと出会ったことから、まずは子どもたちとの活動を軸に地域のつながりを作っていきたいと考えています。

今年4月には「佐倉でタケノコだーい!」を風の村さくら裏山で開催し、23名が参加しました。開催には竹林整備を行う「さくら風の村冒険基地」の協力を得たほか、参加者から「近所に住んでいても(お互い)話す機会がなかったので参加して良かった」との声もあり、住民同士がつながるきっかけづくりができました。

今後も多くの地域の方から地域や暮らしのことを聴き、そのニーズに応える活動や事業を共に検討し、形にしていきます。その過程で、住民が主体的に地域を担っていくことを支援していきたいと考えています。



タケノコ掘りで地域の竹林の魅力を発掘